



第10回 小千谷産学交流研究会

2016年
8月5日 金 13:00 開会
18:00 閉会

小千谷市総合産業会館サンプラザ3階ホール
(小千谷市城内1丁目8番25号)

● 第1部 《ポスター・セッション》 (13:00～) 第2・3ホール

ショート・プレゼンテーション (詳細は裏面をご覧ください)

- 新潟工科大学、長岡技術科学大学、新潟大学
- 株式会社 山口製作所
- 公益財団法人 にいがた産業創業機構

● 第2部 《パネルディスカッション》 (15:15～) 第1ホール

テーマ「ともに創る小千谷の未来」 ～地方創生・産学金官連携～

◆パネリスト

- 木村敬知 小千谷鉄工電子協同組合 理事長
- 小坂和夫 NPO 法人諏訪圏ものづくり推進機構 常務理事
- 新原皓一 長岡技術科学大学 前学長
- 石塚 純 (株)第四銀行 地方創生推進担当部長
- 大塚良夫 小千谷市企画政策課 課長

◆コーディネーター

- 小浦方格 新潟大学地域創生推進機構 准教授



● 第3部 《交流会》 (17:00～) 第2・3ホール

※1人2,000円 (当日受付にてお支払いください)

〆切7月29日(金)



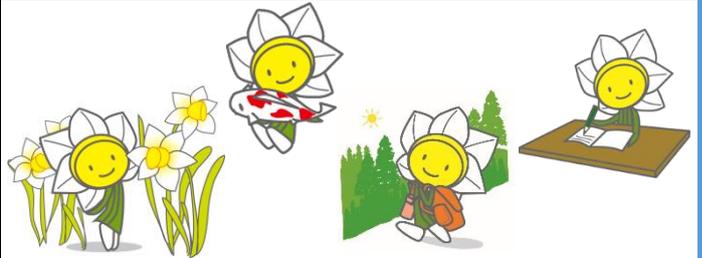
FAX : 0258-83-0871 E-mail : kanko@city.ojiya.niigata.jp

申込書(裏面)に必要事項を記入し、メールまたはFAXでお申込ください。

問合せ先/小千谷市商工観光課商工振興係 担当:星野、井口 TEL 0258-83-3512

主催 新潟大学 長岡技術科学大学 新潟工科大学 小千谷市 小千谷商工会議所 小千谷鉄工電子協同組合
共催 (株)第四銀行 新潟大学産学連携協力会 新潟工科大学産学交流会

ポスター・セッションのご案内 (第2・3ホール)

<p>13:30～「「つなぐ」建築・環境デザイン～建築空間の再生が地域を変える～」 新潟工科大学 工学部(建築計画) 助教 倉知徹 氏 人口減少、高齢化社会で、地域での人のつながり、組織のつながり、活動のつながりが大切になっています。既存の建築空間を再生することで、その「つながり」を生み出す取り組みが増えていきます。注目される例を紹介しします。</p>	<p>13:35～「“骨折治療の現場”から生まれる医療機器開発と地域連携」 新潟工科大学 工学部(バイオエクス) 理事・副学長 原利昭 氏 助教 笹川圭右 氏 骨折治療の現場では、骨が弱い高齢患者が増える傾向にあり、治療方法の複雑化、多様化への万全の対応と共に新たな固定機器等の開発も求められる状況に医工と産学の連携がどの様に貢献し得るかを明示します。</p>
<p>13:40～「小千谷に広がる機能性山野草の可能性」 長岡技術科学大学 技術科学イノベーション専攻 特任准教授 牧慎也 氏 中山間地に植生する山野草は地域で大切に育まれ、門外不出の植物もあります。様々な機能性を有しており、注目されています。最近の話題を紹介しします。</p>	<p>13:45～「水交換不要の錦鯉の水処理技術の紹介」 長岡技術科学大学 技術科学イノベーション専攻 ヌル アデリン ビンティ アブ バカル 氏 水族館における飼育水の維持管理は、水槽に対して 10～20%の容積の濾過装置を用いて、残餌や水生生物の排泄物、および水生生物にとって有害であるアンモニア態窒素(NH4+-N)の分解を行い、その処理水を再利用する事が一般的である。今回は錦鯉の水槽を対象として生物学的窒素除去システム(DHS-USBシステム)の開発について紹介しします。</p>
<p>13:50～「地域遺産の雪室を活用したスノーリゾートの薦め」 新潟大学 名誉教授(元災害・復興科学研究所) 和泉薫 氏 昭和40年代まで夏場の冷熱源として使われていた雪穴(雪室)が旧小国町にはまだ多数残っていることがわかりました。この雪穴を復活・再利用し、地域と都会の人々が冬の貯蔵から夏の冷熱利用まで共同作業で雪を楽しむスノーツーリズムを提案しします。</p>	<p>13:55～「雪を旨とする住まいの豊かさ」 新潟大学 工学部建築学コース 准教授 黒野弘靖 氏 新潟県の中山間地では、家を建てるにあたり、雪を第一に考えてきました。その土地の毎日の生活の繰り返しの中で蓄積された知恵と経験が形となって現れています。それは夏季にもくらしを楽しみ、何世代も続けられるものとなっています。新潟大学建築学コースの学生と勉強してきた十日町市と上越市高田の例を紹介しします。</p>
<p>14:00～「ソーシャルキャピタルで地域の良さを再発見！」 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 特任教授 井口清太郎 氏 新潟大学 医歯学総合病院次世代医療人育成センター 特任助教 鈴木翼 氏 ソーシャルキャピタル(SC)とは社会の絆や、連帯の強さを言います。このSCの豊かな地域では幸福感が高く、人々の健康度も高いとされています。新大医学部では豪雪中山間地域である魚沼地域で、学生が中心となってこのSCを調べています！</p>	<p>14:05～「リチウムイオン電池用タブリード(電極端子)の産学官連携による技術開発」 株式会社 山口製作所 代表取締役 山口貴史 氏 自動車、スマートグリッドに採用される中大型のリチウムイオン電池用タブリードを開発中。電池メーカーの厳しい要求「高品質・低コスト」に応えるため、サポイン、工技総研との共同研究、NICO 高付加価値化サポート等の産学官連携による技術開発に取り組んでいます。</p>
<p>14:10～「大学を自社の味方に！NICOの産学官連携支援」 (公財)にいがた産業創造機構 産業創造グループ 産学連携チーム シニアエキスパート 五十嵐晃 氏 中小企業が新たな事業展開を目指す時、成功への鍵となるのが大学や公設試などと共に取り組む「産学官連携」です。NICOでは、様々なネットワークを駆使して、その第一歩の踏み出しから支援しています。今回はNICOにおける「産学官連携支援」の成功事例をご紹介します。</p>	

小千谷産学交流研究会 申込書

小千谷市商工観光課あて 送信先 E-mail:kanko@city.ojiya.niigata.jp FAX:0258-83-0871

参加企業名		連絡先 (TEL)		
役職名	参加者氏名	ポスター・セッション	パネルディスカッション	交流会

※上記「ポスター・セッション」「パネルディスカッション」「交流会」欄に○印をご記入願います。 ※なお、「交流会」からの参加も大歓迎です。

技術相談申込書

技術相談をご希望の方は、相談内容をご記入の上、お申込みください(送信先同上)。面談日時等は個別にご返答します。

会社名	電話番号
担当者名	E-mail
【内容】	